

令和4年度
筑波大学基金
活動及び実績報告

国立大学法人筑波大学
事業開発推進室

2023年6月7日（水）

令和4年度 活動の概要

筑波大学基金の設置から13年目となる令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、社会の経済活動等が停滞する中、令和5（2023）年度の開学50周年を見据えた「創基151年筑波大学50周年記念基金」をはじめとする基金の渉外活動を実施し、単年度で過去最高の5億円を超える寄附金額を獲得することができた。

令和2（2020）年から始まった新型コロナ感染症対策の影響により、寄附金獲得に向けた渉外活動が制限される中でも一般基金、50周年基金、附属病院支援事業及び留学生後援会基金が令和3（2021）年度の獲得額を上回る額を集めることができた。

新たなプロジェクトとして、体育施設の改修にかかる寄附募集を行った。サッカー場の人工芝の更新のための寄附募集では、現役の蹴球部が中心となりOB・OGへの寄附依頼を行うなどにより、5,100万円を超える寄附金を獲得した。これにより、2023年度から関東大学サッカーリーグ戦をホーム&アウェイ形式で開催することが可能となった。また、陸上競技場の改修にあたって、陸上部員が中心となって、寄附募集活動を行うことにより、1,700万円を超える寄附金を獲得した。これにより日本陸上競技連盟（日本陸連）第3種公認の更新を得ることができ、今後も記録会等が開催可能となった。

また、昨年に引き続き学内17か所あるバス停のベンチの更新に合わせて寄附を募る「（フューチャーシップシートプロジェクト（FSP：Futureship Seat Project）」を継続募集し、11脚、総額1,661万円を獲得した。このうち工事費を除く1,100万円（1脚当たり100万円）が50周年基金に加えられる。また、本学の研究成果や学内で生産した農産物を活用し、県内企業と連携して商品を開発・販売し、売り上げの一部を寄附金として得る仕組みとして「一期一会プロジェクト」の「つくば茶寮」、「Future SENBEI 一筋」を継続販売した。

加えて、「筑波大学公式オリジナルグッズ販売事業」をオンラインで開始するとともに、留学生向けに対面販売を行った。コロナ禍の状況を踏まえ、卒業式における対面販売も開始した。その他これまでの収益事業、「筑波大学カード事業（平成27年度開始）」、「筑波大学オリジナルワイン事業（同）」、「筑波大学オリジナルコーヒー事業（平成28年度開始）」、「スーツ事業（平成28年度開始）」、「ショッピングプラザ（サクラテラス）事業（平成30年度開始）」を引き続き実施した。

ステークホルダーに対応した情報発信として、Twitter、Facebook、LINE等を活用した。

令和4年度筑波大学基金 活動報告

■ 創基 151 年筑波大学 50 周年記念基金関係事業

創基 151 年筑波大学 50 周年記念基金の募集は、卒業生、同窓会組織、学生の保護者、地域の企業等のステークホルダーの方々への依頼を継続し、以下のプロジェクトを実施した。

○ サッカー場の改修プロジェクト（筑波大学蹴球部）

50 周年記念事業の一環として、老朽化したサッカー場の改修を実施。蹴球部や蹴球部 OB/OG など大学内だけでなく、クラウドファンディングの取り組みを通じて社会から寄附を募った。

第1サッカー場（改修前）



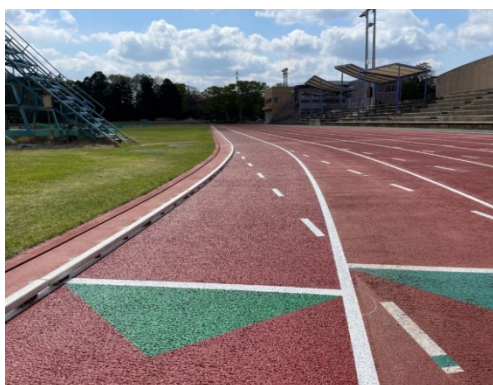
第1サッカー場（改修後）



多くの学生や教員が課外活動だけではなく、授業や研究、スポーツ・デーなどのイベントなどを含めて、安心・安全に幅広く活用されている。

寄附額： 29,324,000 円（令和4年4月～令和5年3月）

○ 陸上競技場の改修プロジェクト（筑波大学陸上部）



令和4年度から、陸上競技場の第3種公認を認定・継続するために必要な改修工事費用を募集した。

1 レーン全周と、傷みの激しかった助走路やスターティングブロック設置位置などもきれいに補修され、競技部員は心新たに令和5年度の活動を開始することができた。

寄附額： 21,554,243 円（令和4年11月～令和5年3月）

○ フューチャーシップシートプロジェクト (FSP : Futureship Seat Project)



令和3年10月から本学キャンパス内のバス停ベンチのリニューアルに伴い、寄附者の氏名とメッセージの入ったプレートを取り付けたベンチ (Futureship Seat) を設置するプロジェクトを開始した。真の総合大学の実現に取り組む本学において、学生とステークホルダーの皆様がより密に結ばれることを目的としている。



販売価格	1,510,000 円※/1脚
設置場所・脚数	17か所、59脚
令和3年度入金額	12,080,000 円 (8脚)
令和4年度入金額	16,610,000 円 (11脚)

※ベンチ代、工事費除く約1,000,000円が寄附相当

■ ウクライナ基金の立ち上げ



令和4年(2022)年7月1日から筑波大学での学修を希望するウクライナ学生への支援のため、寄附金の募集を開始した。

寄附額： 7,203,931 円 (令和4年4月～令和5年3月)

寄附金の使途として、学ぶ場や研究する場を確保することができなくなった学生等の学業継続を支援するための経済支援や住居支援、日本語学習支援を実施した。

令和5年(2023)年3月末時点での学生の受入状況としては、40人の受入れを決定し、内31人が渡日している。



令和4年度寄附受入・支援等状況

■ 寄附受入概要

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大による募金活動の停滞があったものの、「創基151年筑波大学50周年記念基金」へのご寄附が増加し、単年度で5億円を上回る寄附金を受け入れた。筑波大学スポーツアソシエーション（TSA）事業基金、紫峰会基金、修学支援事業基金、研究者の卵サポート基金において、受け入れ額が前年度より減少したが、創基151年筑波大学50周年記念基金（FSP及びサッカー場・陸上競技場の改修を除く）では、約1.6倍の受け入れ額となった。

■ 令和4年度寄附受入実績

集計期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

○ 現金による寄附 534,947,337円 10,955件

区分	寄附額（単位：円）		件数	
	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
一般基金				
支援1. 教育・人材育成 支援2. 国際交流 支援3. 学術研究 支援4. 地域貢献 指定無し 使途特定 世界を変えよう基金（MDW基金）…※1	124,967,202	119,199,022	3,316	3,124
特定基金				
創基151年筑波大学50周年記念基金	281,268,961	169,462,484	3,645	2,469
フューチャーシップシートプロジェクト（FSP）	16,610,000	12,080,000	12	8
サッカー場（旧第1サッカー場）の改修	29,324,000	-	1,296	-
陸上競技場の改修	21,554,243	-	823	-
筑波大学スポーツアソシエーション（TSA）事業	6,348,520	10,390,200	286	282
附属病院支援事業	12,965,500	9,879,000	58	57
紫峰会基金	33,608,070	34,020,000	1,238	1,354
留学生後援会基金	1,533,200	1,404,702	202	210
修学支援事業基金（「今川FUTURE基金」を含む…※2）	6,009,000	15,804,000	57	68
研究者の卵サポート基金	745,000	15,147,000	20	9
現物資産活用基金※3	13,641	15,996	2	2
合計	534,947,337	387,402,404	10,955	7,583

※1…「世界を変えよう基金」は、一般基金への寄附金として受け入れた資金を「筑波大学『世界を変えよう基金』（MDW基金）運営要項」に基づき運用。

※2…「今川FUTURE基金」は、修学支援事業基金への寄附金として受け入れた資金を「筑波大学学生奨学金制度つくばスカラシップに関する要項」に基づき運用。

※3…現物資産活用基金は、有価証券（R1.12.18寄附受け）の配当金である。

■ 令和4年度 一般基金からの支援状況等

○ 用途特定分を除く一般基金からの支援・支出

事項	計画額 (単位：円)	実績額 (単位：円)
学園祭	1,000,000	1,000,000
宿舍祭 (ヤドカリ祭)	300,000	300,000
スポーツ・デー	500,000	500,000
つくばスカラシップ	4,300,000	4,300,000
ファンドレイザー人件費	5,000,000	0
活動 (交際) 費	1,000,000	1,233,146
入金処理手数料等 (返礼品等を含む)	5,000,000	3,462,032
プロジェクト運営費	2,000,000	10,452,658
計	19,100,000	21,247,836

○ 一般基金に受け入れた、寄附者の意向に基づく用途特定寄附金からの支援

支援事項	支援実績額 (単位：円)
微生物サステナビリティ研究センター (MiCS) への支援	300,000
研究支援 (人間系)	2,000,000
教育支援 (ヒューマニクス学位プログラム)	100,000
国際統合睡眠医科学研究機構	100,000
アーカイブ充実化のための支援	100,000
アスレチックデパートメント	23,319,365
ウクライナ支援基金	7,203,931
附属小学校	14,801,202
附属中学校	5,074,900
附属高等学校	245,000
附属坂戸高等学校	16,148,908
附属駒場中・高	24,286,463
附属視覚特別支援学校	7,195,000
附属桐が丘特別支援学校	40,000
附属大塚特別支援学校	250,000
執行額計	101,164,769

○ 「世界を変えよう基金」からの支援

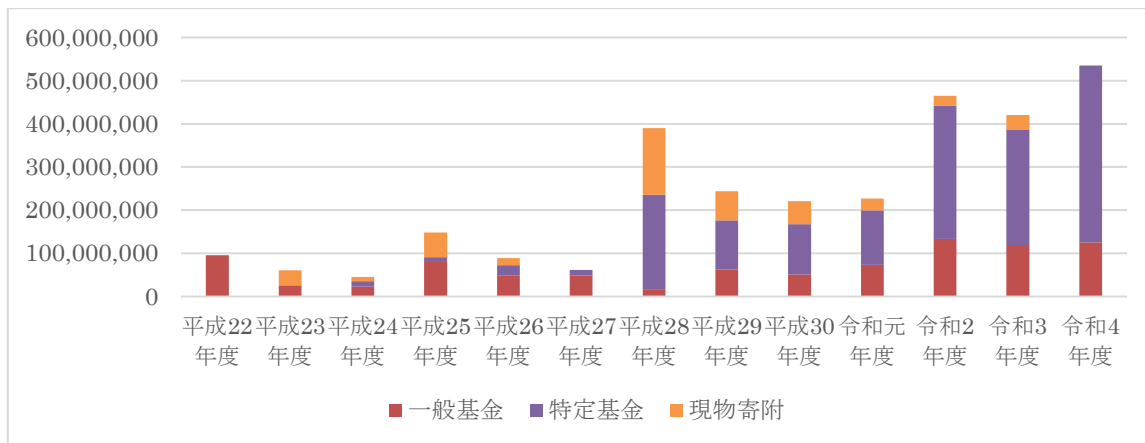
支援事項	支援実績額 (単位：円)
社会・文化貢献事業支援	50,000
大学附属図書館図書購入支援	162,498
人材育成プログラム (旧 国際人材養成プログラム)	120,000
鈴木奨学金	1,802,620
「ヨーロッパ絵画を楽しむ会」アシスタント奨学金	80,000
執行額計	2,215,118

■現物寄附 1件

トラクター関連部品 1,200,000円※（筑波大学硬式野球部OB会様）
 ※創基151年筑波大学50周年記念基金への寄附

■基金設立時からの年度別寄附額（創基151年筑波大学50周年記念基金を含む）

○年度別寄附額（全体）

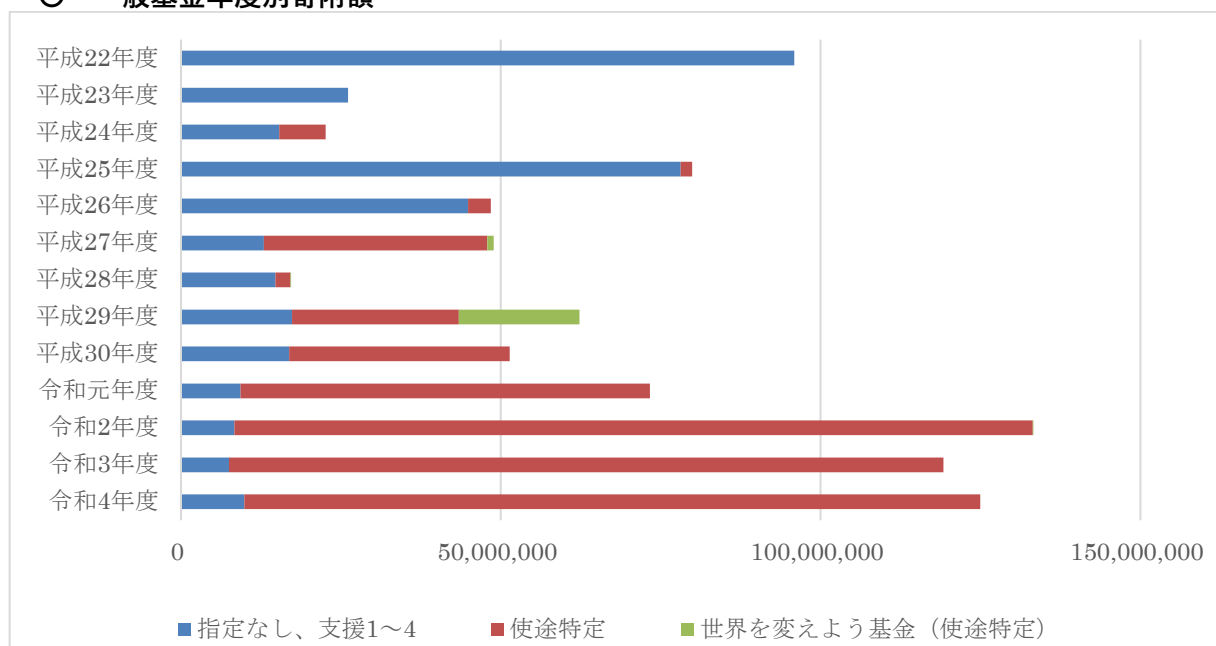


(円)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
一般基金	62,322,192	51,380,049	73,330,722	133,250,298	119,199,022	124,967,202	903,538,176
特定基金	113,834,721	116,511,609	126,343,246	308,923,338	268,203,382	409,980,135	1,623,413,450
現物寄附	67,671,300	53,391,184	27,437,024	22,683,085	33,104,201	1,200,000	478,535,827
合計	243,828,213	221,282,842	227,110,992	464,856,721	420,506,605	536,147,337	3,005,487,453

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
一般基金	95,905,932	26,127,250	22,624,007	79,921,162	48,438,663	48,865,983	17,205,694
特定基金	—	—	12,817,020	11,253,508	24,130,094	12,906,586	218,509,811
現物寄附	0	34,413,150	10,120,468	57,148,739	16,724,024	0	154,642,652
合計	95,905,932	60,540,400	45,561,495	148,323,409	89,292,781	61,772,569	390,358,157

○ 一般基金年度別寄附額



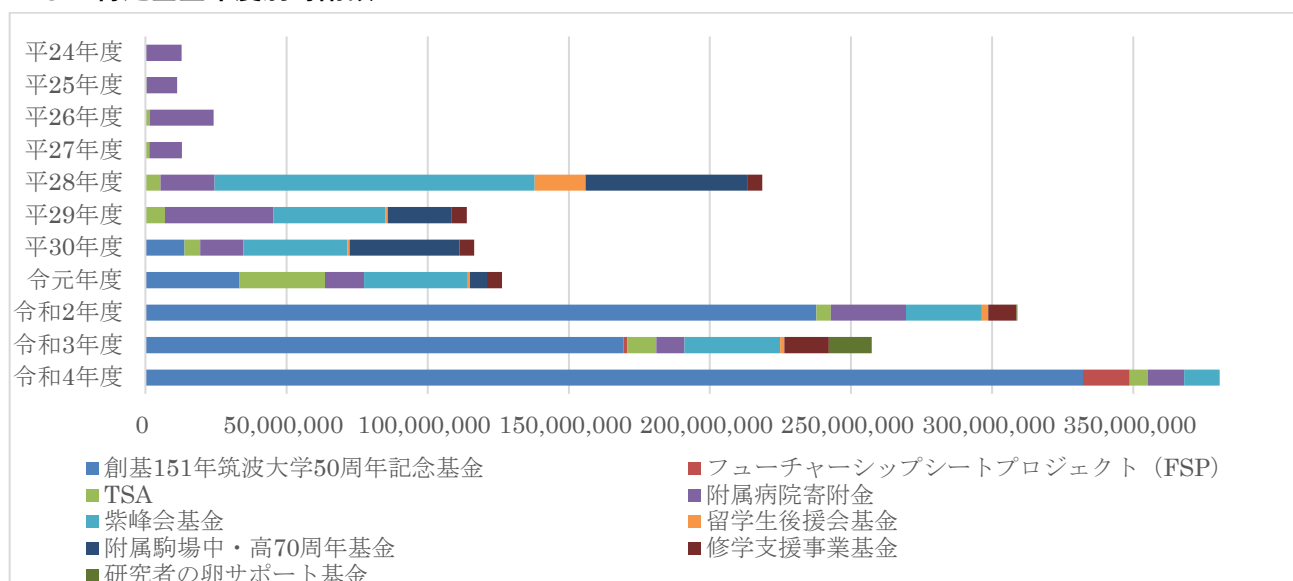
(円)

寄附目的	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
指定なし、支援1~4	17,369,584	16,915,172	9,313,688	8,367,539	7,515,113	9,916,433	357,461,716
使途特定	26,052,608	34,464,877	64,017,034	124,782,759	111,683,909	115,050,769	525,976,460
世界を変えよう基金（使途特定）	18,900,000	0	0	100,000	0	0	20,100,000
合計	62,322,192	51,380,049	73,330,722	133,250,298	119,199,022	124,967,202	903,538,176

寄附目的	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
指定なし、支援1~4	95,905,932	26,127,250	15,383,107	78,106,662	44,862,290	12,933,195	14,745,751
使途特定	—	—	7,240,900	1,814,500	3,576,373	34,932,788	2,359,943
世界を変えよう基金（使途特定）	—	—	—	—	—	1,000,000	100,000
合計	95,905,932	26,127,250	22,624,007	79,921,162	48,438,663	48,865,983	17,205,694

※世界を変えよう基金（使途特定）への寄附として令和4年（2022）年10月に有価証券の寄附を受入。詳細は p.22 に記載。

○ 特定基金年度別寄附額



(円)

寄附目的	平 30 年度	令元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	合計
創基 151 年筑波大学 50 周年記念基金※2	13,900,400	33,378,384	237,707,165	169,462,484	332,147,204	786,595,637
フューチャーシップシートプロジェクト(FSP)	—	—	—	1,208,000	16,610,000	17,818,000
TSA	5,496,000	30,244,791	5,116,000	10,390,200	6,348,520	73,562,986
附属病院寄附金	15,344,500	13,893,000	26,617,000	9,879,000	12,965,500	193,764,455
紫峰会基金	36,835,650	36,730,206	26,954,026	34,020,000	33,608,070	321,132,968
留学生後援会基金	804,000	745,000	2,281,000	1,404,702	1,533,200	25,733,226
附属駒場中・高 70 周年基金	38,929,059	6,005,000	—	—	—	125,110,529
修学支援事業基金 (今川 FUTURE 基金含)	5,202,000	5,341,000	9,892,000	15,804,000	6,009,000	52,540,000
研究者の卵サポート基金	—	—	350,000	15,147,000	745,000	16,242,000
現物資産活用基金	—	5,865	6,147	15,996	13,641	41,649
合計	116,511,609	126,343,246	308,923,338	257,331,382	409,980,135	1,612,541,450

寄附目的	平 24 年度	平 25 年度	平 26 年度	平 27 年度	平 28 年度※1	平 29 年度
創基 151 年筑波大学 50 周年記念基金※2	—	—	—	—	—	—
フューチャーシップシートプロジェクト(FSP)	—	—	—	—	—	—
TSA	256,325	342,472	1,624,275	1,400,438	5,394,465	6,949,500
附属病院寄附金	12,560,695	10,911,036	22,505,819	11,506,148	19,099,165	38,482,592
紫峰会基金	—	—	—	—	113,416,016	39,569,000
留学生後援会基金	—	—	—	—	18,078,324	887,000
附属駒場中・高 70 周年基金	—	—	—	—	57,511,841	22,664,629
修学支援事業基金 (今川 FUTURE 基金含)	—	—	—	—	5,010,000	5,282,000
研究者の卵サポート基金	—	—	—	—	—	—
現物資産活用基金	—	—	—	—	—	—
合計	12,817,020	11,253,508	24,130,094	12,906,586	218,509,811	113,834,721

※1 平成 28 年度寄附額には、紫峰会、留学生後援会からの移行資産を含む。

※2 「創基 151 年筑波大学 50 周年記念基金」には、「サッカー場（旧第 1 サッカー場）の改修」・「陸上競技場の改修」プロジェクトも含む

○ 預金利息

(単位：円)

行 名	普通預金利息
三井住友銀行 つくば支店	1,165
三菱UFJ銀行 本店	642
常陽銀行 研究学園都市支店	8,514
筑波銀行 つくば営業部	278
合 計	10,599

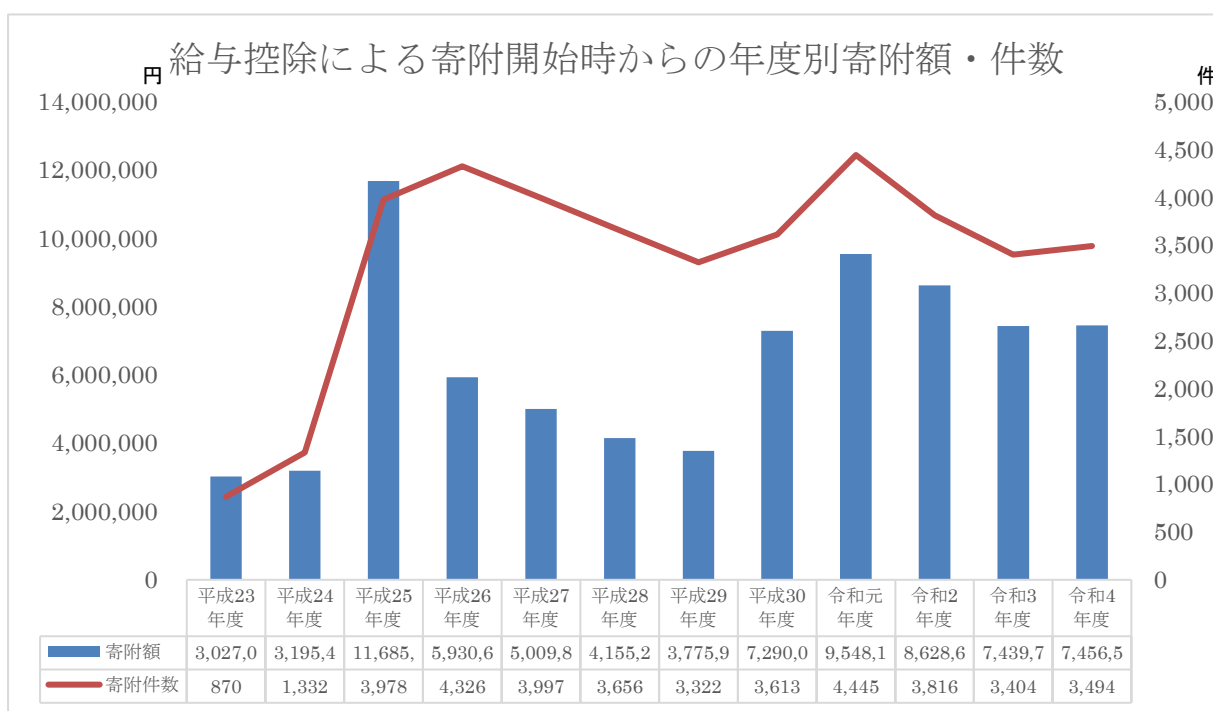
○ 教職員からの給与控除による寄附実績 (創基 151 年筑波大学 50 周年記念基金を含む)

件数 延べ 3,494 件

寄附額 計 7,456,500 円

職種	登録者数
役員等	9
教員	130
事務職員・技術職員 (非常勤職員を含む)	163
附属病院看護師	5
附属学校教員等	17
合計	324

※令和 4 年度 3 月末日時点のデータ



■ 収益事業等

○ 筑波大学オリジナルボルドーワイン事業

ボルドー大学との Campus-in-Campus (CiC) 協定締結を記念し、平成 27 年度から同大学の関連シャトーで醸造しているワインの輸入販売を行っている。

令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響等によりワインの輸入を見送ったが、令和 3 年度は輸入を再開し、株式会社カクヤスのオンラインショップ及び株式会社カスミの筑波大学店・ブルシェつくばキュート店の 2 店舗にて販売を行った。また、大学公式グッズをオンラインで販売するサイト (TSUKUBA-SHOP) への掲載を予定している。

販売商品

商品名	販売本数	参考価格
シャトー・クーアン ルージュ (赤) (750ml)	350 本	4,380 円 (税込)
シャトー・クーアン ブラン (白) (750ml)	127 本	5,000 円 (税込)

売上額 2,128,788 円 (税込) (令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月)

販売会社 株式会社カクヤス及び株式会社カスミ

○ 筑波大学オリジナルコーヒー事業

本学のグローバル戦略及び世界展開事業の一環として、平成 27 年 4 月にサンパウロオフィスを開設するとともに、サンパウロ大学、サンタ・クルス病院と協定を締結した。その記念として、サンタ・クルス病院の理事長が所有する農園のコーヒーを輸入し、株式会社サザコーヒー (本社：茨城県ひたちなか市) と提携し、平成 28 年度から販売を開始した。

なお、売り上げの一部を筑波大学基金にご寄附いただくこととしている。

販売商品

商品名	販売価格
筑波大学アリアンサエステートコーヒー 豆 200g	1,500 円 (税込)
筑波大学アリアンサエステートコーヒー カップオン (5 枚入)	1,000 円 (税込)

売上額 3,933,400 円 (税込) (令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月)

販売会社 株式会社サザコーヒー

寄附額 令和 4 年度売上分に対し 786,680 円 (販売価格の 20%)

○ お菓子プロジェクト「つくば茶寮」

地元企業と連携し、本学の研究成果等と県内の食材を利用したお菓子作りを通じて社会的価値へと変換していくことを目的として、洋菓子店のコート・ダジュール（つくば市）、野口熊太郎茶園（茨城県境町）及び本学健幸イノベーション開発研究センターの3者で協業し、「つくば茶寮」の製造・販売を行った。

販売価格	3個入り 530円 5個入り 1,000円（各税込）
売上額	3,349,296円（税込）（令和3年12月～令和4年7月）
寄附額	令和4年度 158,823円（小売り:販売価格の5%、卸売り:販売価格の2%）

○ お菓子プロジェクト「FUTURE SENBEI 一筋」

つくば機能植物イノベーション研究センター（T-PIRC）で生産した米を原材料に県内の米菓製造業者の椎名米菓（取手市）と協業し、「FUTURE SENBEI 一筋」（醤油、砂糖、にんにく醤油各2枚合計6枚入り）の製造・販売を行った。

販売価格	700円（税込）
販売店舗	カスミ筑波大学店、Q't店、椎名米菓で販売
売上額	189,000円（税込）（令和4年3月～令和4年4月）
寄附額	令和4年度 18,900円（販売価格の10%）

○ 筑波大学公式オリジナルグッズ販売事業

株式会社デューク・コーポレーションと筑波大学公式オリジナルグッズの販売及び店舗運営委託契約を締結し、令和4年2月からオフィシャルオンラインストア「TSUKUBA-SHOP」を開設し、公式グッズの販売を開始した。

なお、筑波大学公式オリジナルグッズの全売上の10%を販売ロイヤリティとして、本学へ納入されることとなっている。

また令和4年度から、卒業式や留学生向けのイベントなどを開催する際に併せて、対面でのグッズ販売を開始した。

販売ロイヤリティ額	令和4年度売上分に対し	1,201,873円
------------------	-------------	------------

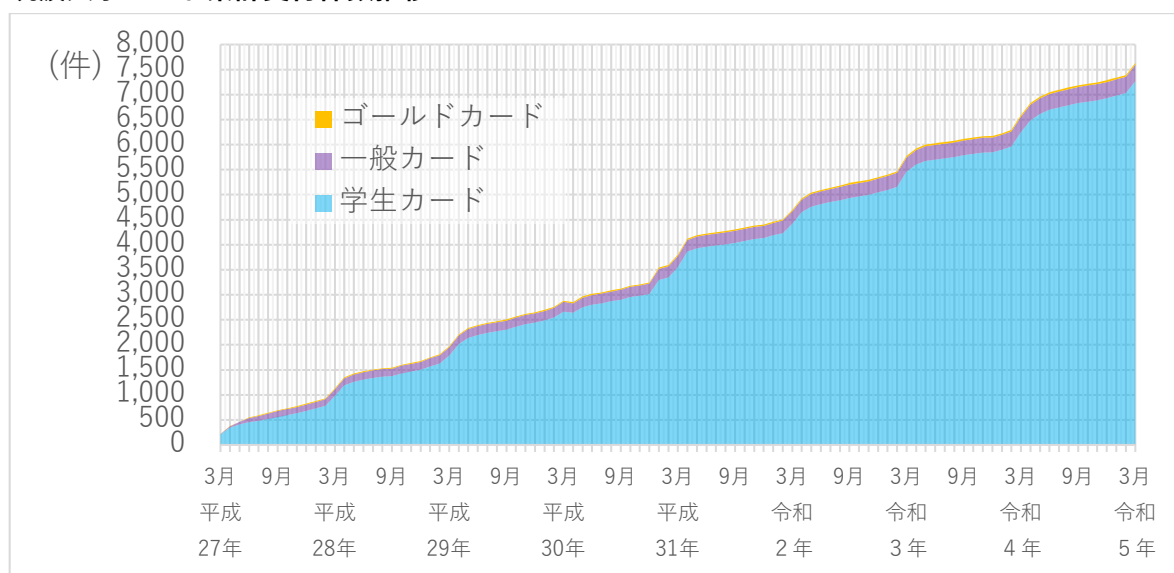
○ 筑波大学カード事業

三井住友カード株式会社と提携契約を締結の上、平成 27 年度から大学関係者を入会対象とするクレジット機能付き大学カード（筑波大学校友会カード）事業を開始し、平成 29 年 1 月、「筑波大学校友会」が学外に設立されたことに伴い、「筑波大学カード」に改称した。5 年間でカードを 4,000 枚発行する目標を掲げ、5 年目の令和元年度に目標数を達成し、その後も着実に発行枚数が増加している。

本カードの最大の特徴は、大学近辺の商店や飲食店、全国展開の大型店、ホテル等約 300 の店舗・施設においてカードの提示により会員特典を受けられることである。

なお、三井住友カード株式会社からは、本カードの入会数に応じたあっせん手数料、会員のカード利用額に応じた、取扱手数料を定期的に筑波大学基金にご寄附いただくこととしている。

筑波大学カード累計受付件数推移



累計受付件数 令和 5 年 3 月末現在 7,633 件

寄附額

令和 4 年度内の筑波大学カード発行数に基づくあっせん手数料	396,000 円
令和 4 年度内の筑波大学カード利用額に基づく取扱手数料	3,974,625 円

○ スーツ事業

平成 28 年度から学生・教職員等の福利厚生のため、学生の入学時や就職活動等で必要となるスーツ等の割引販売を紳士服大手企業 4 社（AOKI、コナカ、洋服の青山、はるやま）と提携した。本事業は、割引販売にかかる広報に大学が協力することにより、提携各社から商品販売価格の一部を手数料として納入いただくもので、受入金は学生支援等に充当する予定としている。

手数料額	令和 4 年度売上分に対し	1,622,112 円（4 社合計）
------	---------------	--------------------

○ 自転車事業

学内で発生する放置自転車の減少を目指して、自転車事業を開始した。この事業は、大学公認自転車の新車販売（令和4年6月開始）と、学内で不要になった自転車を活用したサブスクリプション事業（月極レンタサイクル 令和4年12月開始）との2事業を展開している。

公認自転車の販売については売上の10%が寄附として入金される。

事業実施会社：株式会社VICTAS

事業運営会社：株式会社メイゲンソ

事業委託会社：サイクルシック（CYCLE CHIC）

公認自転車販売台数 17台（寄附額： $59,400 \text{円} \times 17 \text{台} \times 0.1 = 100,980 \text{円}$ ）

※令和5年4月28日入金

サブスクリプション自転車 約180台

○ ショッピングプラザ（サクラテラス）事業

学生及び教職員等の福利厚生、利便性の向上に資することを目的として、平成30年10月に筑波キャンパス南地区内にカスミ、サザコーヒーの2店舗を核とするショッピングプラザ（サクラテラス）をオープンした。

カスミでは、本学の「つくば機能植物イノベーション研究センター（T-PIRC）」で生産されたお米やオリジナルワイン、煎餅の販売を行った。令和5年3月から、筑波大学公式オリジナルグッズの店頭販売を開始した。

サザコーヒーでも、季節ごとのイベントや定期イベント、新商品の先行販売会等を実施しており、学内関係者や近隣住民の方々の憩いの場、交流の場として定着しつつある。

事業期間 平成30年4月4日～令和20年9月30日

■ その他の寄附募集活動

○ 有価証券による寄附

平成 30 年の税制改正により、個人からの株式等の寄附について非課税措置の手続きが簡便化されたことを踏まえ、令和元年 12 月に有価証券による寄附を受入れた。この寄附は、有価証券の配当金をもって本学教育研究の活動支援に使用するものであり、筑波大学基金内に新たに設けた「現物資産活用基金」として運営を行っている。また、令和 4 年 10 月 7 日に追加寄附を受入れた。

有価証券の受入れ拡大を目指し、外訪時における税制上の支援を強化するため、税理士及び公認会計士の資格を有する本学修了生と業務委託契約に向けた協議を開始した。

令和 4 年度の受入実績

有価証券	MCUBS MidCtiy 投資法人	23 口	(2,421,900 円)
寄附者	鈴木英明様 (茨城県つくば市在住)		
受入日	令和元年 12 月 18 日	3 口	
	令和 4 年 10 月 7 日	20 口	

○ 株式会社 READYFOR との連携

・ 遺贈による寄附への対応

令和 3 年 7 月から、株式会社 READYFOR が提供するサービス「READYFOR 遺贈寄附サポート」の利用を開始した。これまでの三井住友銀行（相続アドバイザーー遺言信託業務）のサポートに加え、遺贈寄附の検討者に対する相談対応窓口を拡充した。

上記の体制強化に加えて、令和 4 年度は本学 OB 組織である茗溪会の会報『茗溪会報』への広告掲載や遺贈寄附パンフレットの送付を実施した。

令和 4 年度実績

相続財産からの寄附受入れ 計 45,000,000 円 (3 件)

・ クラウドファンディングの実施

平成 28 年 10 月に、クラウドファンディングサイト「Readyfor」を運営する READYFOR 株式会社と契約締結した。

令和 4 年度実施プログラム 1 件

プログラム名	筑波大学サッカー場改修 -これからのサッカー界のために	
寄附額	18,145,000 円	
寄附者数	1,286 人	

○ 古本募金による寄附

古本募金については、コロナ禍の影響で一時的に中断していた古本受入が再開した。古本買取業者の開拓等により、寄附金額が大幅増となった。

令和 4 年度の受入実績 34 件 寄附額 計 348,744 円

■ 地域・社会との連携

○ 学長を囲む会

平成 21 年から大学と地域を結びつけることを目的に「学長を囲む会」をスタートした。

メンバー拡大に努め、研究成果や大学に関連する情報を発信し、地域との交流を深めた。会員数、参加者も増加し、毎回 150 名を超える規模となった。

本年 10 月の開学 50 周年までに開催する学長を囲む会（4 回開催の予定）において、筑波大学の使命である「教育（智の伝承）」「研究（智の探求）」「社会実装（智の活用）」をそれぞれテーマとして、3 回に分けて本学の担当副学長を講師とした講演を行う。

会員数 335 企業／団体（令和 5 年 3 月現在）

令和 4 年度の開催状況

第 1 回 日時 : 令和 4（2022）年 6 月

場所 : つくば国際会議場

参加者数 : 109 人

第 2 回 日時 : 令和 4（2022）年 10 月

場所 : つくば国際会議場

参加者数 : 178 人

第 3 回 日時 : 令和 5（2023）年 2 月

場所 : つくば国際会議場

参加者数 : 119 人

■ 寄附者への謝意表明

○ 寄附者への感謝の集い

平成 30 年度から、寄附者への感謝の意を表するとともに、寄附者と大学との交流を促進し、繋がりを強化する機会として、寄附者への感謝の集い「TSUKUBA FUTURESHP CREW'S MEETING」を開催してきた。令和 4 年度は、一般の寄附者（新たに個人 10 万円以上、法人 50 万円以上のご寄附をいただいた方）に対して、つくば茶寮、オリジナルエコバック及び基金活動報告書を対象となる 572 名に送付した。その他、1,458 名へ基金活動報告書を送付した。

また、高額寄附者（過去 5 年間で 500 万円以上または附帯事業で協力いただいている寄附者）に対しては、感染症対策を十分行ったうえで「TSUKUBA FUTURESHP CREW'S MEETING for SPECIAL」を対面形式で開催した。

■ 卒業生との連携

○ ホームカミングデーの実施

例年、卒業生同士で旧交を温め、大学との関係も深めていただく目的で、学園祭の期間中に卒業生を大学に招待するホームカミングデーを開催している。

令和4年度（第25回）ホームカミングデー 開催概要

開催日・場所	令和4年11月5日（土）	筑波大学 第一体育館
参加者数	約350人	
実施内容	学生へのインタビュー動画上映、大学にまつわるクイズ大会を実施	

○ SNSによる情報発信・連携強化

本学と卒業生・修了生、在学生、元教職員、教職員、課外活動団体及び各同窓会といった本学関係者との連携強化を目的として、平成24年4月からSNSを運用している。

登録状況（令和5年3月末現在）

サービス名称（ターゲット層）

生涯メールアドレス（卒業生向け）	登録者数：約45,000人
LINE（保護者向け）	登録者数：約7,000人
Twitter	フォロワー数：約4,200人
Facebook	フォロワー数：約320人

○ 茗溪会

明治15年4月29日 当時の東京師範学校卒業生によって設立され、平成24年4月から一般社団法人茗溪会として活動しており、本学の開学当初から、多くの支援をいただいている。

また、平成30年4月に「茗溪・筑波産業人倶楽部」を発足させ、本学卒業生の産業人を中心したネットワークの構築と本学学生に対する支援を開始。

同会の目的として、次の3点を掲げている。

- (1) 会員相互の親睦及び互助並びに知徳の啓発を図る
- (2) 国立大学法人筑波大学の目的及び使命の達成に協力する
- (3) 学術、文化、教育並びに社会貢献活動及び国際相互理解の促進に資する

会員数 約53,000名

茗溪会からのご支援

茗溪・筑波産業人クラブによるキャリアカフェの開催（オンライン3回）

ホームカミングデーへの支援 100,000円

創基151年筑波大学50周年記念基金への支援 1,000,000円

○ 筑波みらいの会

「筑波みらいの会」とは、平成 24 年度に立ち上げられた「筑波大学出身経営者の会（仮称）」が、平成 25 年 5 月の総会において正式に発足したものである。令和 4 年度は、11 月開催のオンラインホームカミングデーへの支援をいただいた。

同会は設立意義として次の 3 点を掲げている。

- (1) 会員同士が連携・交流すること
- (2) 会員から大学及び学生に対して貢献・支援・連携すること
- (3) 大学の成果・情報を会員に提供すること

筑波みらいの会からのご支援：ホームカミングデーへの支援 100,000 円

○ 筑波大学校友会

筑波大学校友会（会長：江崎玲於奈）は、筑波大学の卒業生・修了生、在学生及び教職員等を構成員として、平成 29 年 1 月に設立された。令和 4 年度は、ホームカミングデーへの支援、学群卒業生への学位記収納ホルダの賛助、校友会江崎賞の授与の他、学生のキャリア形成に繋がる交流事業へもご協力いただいた。

同会の実施事業については、次の 3 点を掲げている。

- (1) 会員相互の交流と親睦に寄与する事業
 - (2) 筑波大学との連携及び協力を推進する事業
 - (3) その他本会の目的を達成するために必要な事業
- 会員数 1,147 名（令和 5 年 3 月現在）

校友会からのご支援：

- ・ ホームカミングデーへの支援 100,000 円
- ・ 学位記ホルダ 学群生用：300,000 円相当
- ・ 校友会江崎賞 学群/学類/学位プログラム等から 56 人 賞状及び副賞：299,000 円相当